

【チームよつばのクローバー】



01

政策テーマ
若者の投票率向上

メンバー
笠原暖志
牧原直希
伴野航弥
船坂歩那

チームよつばのクローバー



第5期蒲郡若者議会

メンバー紹介



笠原暖志



伴野航弥



船坂歩那



牧原直希

政策＝理想の未来像

理想の未来像

若者も共に幸せな未来を
創っていける街がまごおり

若者に政治への興味を持つてもらい
選挙に行こうぜ！っていう人を増やし、
若者の投票率を向上することにより
若者も一緒に住みやすい街を
創っていきたい。

これまでの活動記録

期日前投票の見学を実施（7月11日）



↑投票を間近で見学できました

後日の新聞記事→

蒲郡市議会の「蒲郡若者議会」の3人が視察し、市選管事務局の担当者から説明を受けた。写真。

「若者の投票率向上」をテーマに有効策を議論、検討している3人は市役所北棟の投票所で、BGMを流して柔らかい雰囲気を演出し、市金景のイラストが入ったはがき大の投票済証が

蒲郡市議会の「蒲郡若者議会」の3人が視察し、市選管事務局の担当者から説明を受けた。写真。

「若者の投票率向上」をテーマに有効策を議論、検討している3人は市役所北棟の投票所で、BGMを流して柔らかい雰囲気を演出し、市金景のイラストが入ったはがき大の投票済証が

期日前投票所の工夫は？

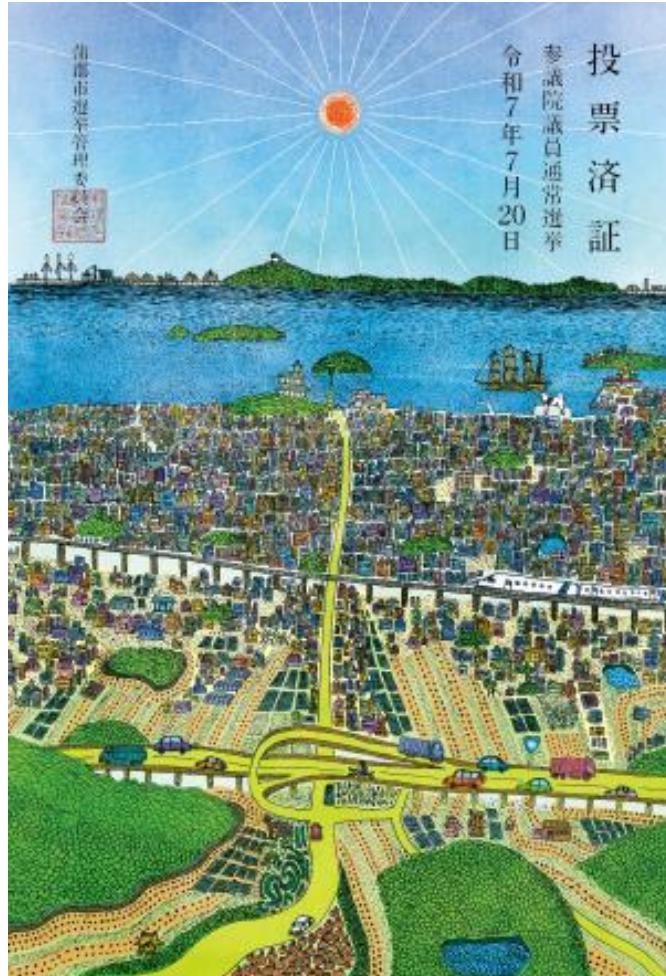
好評を得ているなどの現状を聞いた。

実際に期日前投票もした大学生、船坂歩那さん(20)は「BGMを流す試みはいいと感じた。一方で、比例代表の投票方法は分かりにくかった」と感想。自営業の牧原直希さん(19)は「平日の午後なのに若い人が投票している姿が目立つ、期日前投票が広く浸透していると感じた」と話した。

若者議会は蒲郡青年会議所などによる運営委員会が主催。5期目の今期は16～25歳の11人が10回以上の会合を経て市への政策提言をまとめ、12月に提出する。(伊東誠)

これまでの活動記録

期日前投票の見学を実施（7月11日）



←今回の投票見学の際にいただいた絵はがき風の投票済証。

過去の投票済証→選挙ごとに異なるデザインでコレクション要素を取り入れ、選挙を身近に感じてもらう。



現状分析

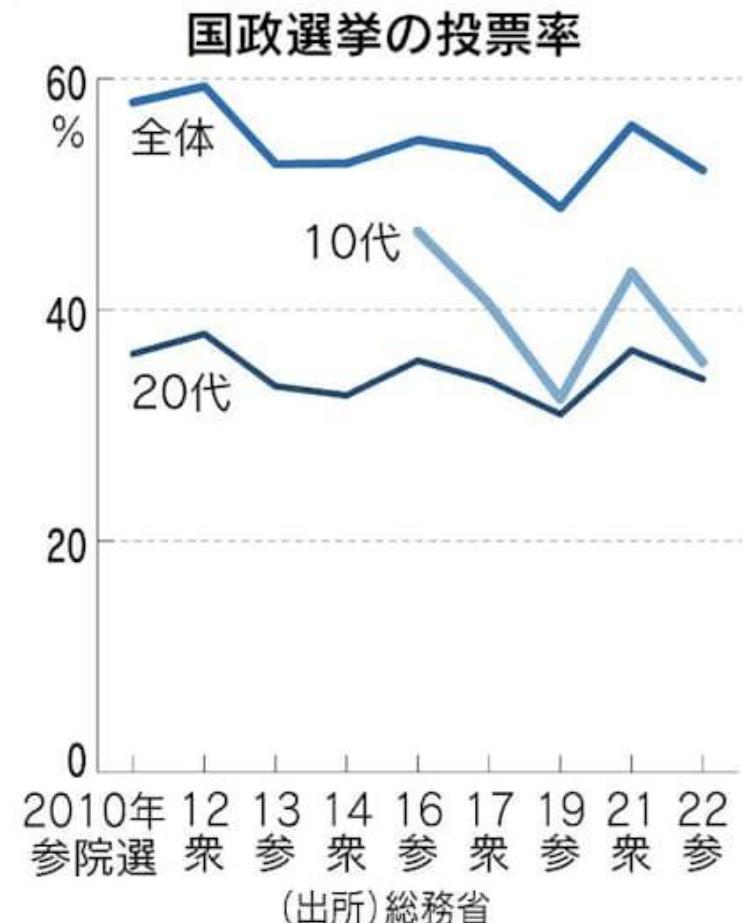
蒲郡で行われている取組み・施策

- ・投票済証や投票手帳の配布
- ・選挙出前講座の実施(市内の小中学校にて)
- ・期日前投票場所を3箇所から4箇所へ拡大
- ・若者の選挙立会人を募集

現状分析

課題に関する数値的データ

	10代	20代	
衆議院 (R6.10)	42.5%	38.3%	55.3%
参議院 (R4.07)	45.0%	41.5%	53.0%
県知事 (R5.02)	29.8%	24.9%	38.4%
県議会 (R5.04)	27.6%	26.3%	41.6%
市 長 (R5.10)	22.6%	17.3%	34.2%
市議会 (R5.04)	32.6%	30.7%	51.0%



現状の課題とその解決

若者の投票率の低さとその影響を考察

投票率の低さ

- ・投票しても変わらないという意識
- ・1票の価値を知れてない
- ・自分で精一杯で政治まで目がいかない
- ・県外に進学した場合選挙のために帰ってこない

懸念される影響

- ・若者の声が政策に反映されにくい
- ・まちの未来に歪みが生じる
- ・長期的課題への対応が困難



現状の課題とその解決

若者の投票率向上による効果を考察

- ・未来のための投資が進む
(教育・研究・環境など長く役に立つことにお金を使いやすくする)
- ・若い人の仕事が増える
(新しいお店や産業が生まれ、選択肢が広がる)
- ・まちがにぎわう
(買い物・観光が活発になり、地域が元気になる)



現状の課題とその解決

若者の投票率が高い国スウェーデン



Q.スウェーデンの若者の投票率はどのくらい？

- ・日本：若者投票率 **30～40%** 対して
- ・スウェーデン：若者投票率 **82%**
国全体の投票率は**84%**
(2022年データ)

→日本の倍以上、圧倒的！



現状の課題とその解決

若者の投票率が高い国スウェーデン



Q.なぜスウェーデンは若者の投票率が高いのか？

①若者への主権者教育

- ・小学生から社会科で投票や意見表明の重要性を学ぶ
- ・高校生になると大臣と議論ができる!?

②広報・宣伝の強化

- ・統計庁が年齢別投票動向を定期的に公表
また他の機関発表のものもあり比較分析ができる



現状の課題とその解決

若者の投票率が高い国スウェーデン



Q.なぜスウェーデンは若者の投票率が高いのか？

③選挙へ行くハードルの低さ

- ・期日前投票の期間が長く場所もたくさん
- ・身分確認が柔軟
- ・商業施設などを投票所にして回遊と消費も促進
- ・後悔投票（投票のやり直し）も可！

→ 若いうちから政治を“自分ごと”に



現状の課題とその解決

主権者教育のススメ



主権者教育とは？

Q、どんな教育？

→大人になって選挙や社会づくりに参加できるようにする学び

Q、なぜ大事？

→「よくわからないから選挙に行かない」をなくすため

→自分で考えて行動できる人を増やす

Q、学ぶことは？

→選挙の仕組み・投票の方法

→自分の意見を考え、話す力

→情報の正しい見方

→社会の課題を身近に感じること

現状の課題とその解決

スウェーデンの実例を参考にして



そうだ！スウェーデンのような仕組みを取り入れたらどうなるだろうか

- ・「日常の動線に投票所を置く」と投票が生活の一部になって投票率向上？
- ・蒲郡市の東港計画に発想が似てる？
- ・これが実現したらまちのインパクトも↑↑↑

ということで...



理想の未来像

事業名

海のまちがまごおりに「海上都市」建設 (主権者教育モデル都市)

- ・幅広い年齢層で若者も含めた意見を集約できる居場所
→若者も持っている意見を伝えることにより自分たちの意見が反映され、一票の大切さを知つてもらう



理想の未来像

海上都市の目的と手段

- 目的

→若い人が「自分で選ぶ力」を身につけて、もっと投票に参加できるようにする。まちの大切な決まりごとを、みんなで続けてつくれるようにする

- 手段

- 海上に「投票できる駅」をつくる
- 学びの場・交流の場も併せて、“投票することが毎日の当たり前”になるようにする



理想の未来像

得られること・まとめ

・得られること

- ・若者の投票増
- ・研究や新しいチャレンジが生まれる場所
- ・学ぶ → 参加するの流れができる
- ・まちを巡るひとが増え経済が元気に

・海上都市の役割(まとめ)

若者が「自分で決める」を体験できる場所

蒲郡版

「投票・学び・交流が海の上でできる、
若者のための新しいまち」



理想の未来像

海上都市の設備（案）とその効果

○設備

- ・投票所
- ・学び舎
- その他

○効果

- ・投票のハードルが下がる
- 何かの「ついで」に寄れる

- ・みんなの声が届く
- 自分たちで決めた〇〇が形になる

- ・街がにぎわう
- 投票のついでに活性化



理想の未来像

海上都市の成果

内容についてはあくまで概要で、このように海上都市は、若者が主権者意識を実践的に育てる場となります。

遠い未来の目標ですが、実現に近づけるため必要性を示す実証事業をこのように考えています。

理想の未来像

実証事業（今後の企画）

主な内容

- ・市内の主要駅やアピタなど日常動線で主権者意識を高める行事を行う。
- ・何かの“ついで”に、投票を体験できるブースを設置
- ・実現可能な小さなまちづくりに対する模擬選挙

事業開催に向けて

事業概要

「蒲郡駅にほしいものの選挙」 投票の開催

○開催日時

11月初旬から月末までの平日(不定期開催)
16時~17時ごろまで

○開催場所・その他

JR蒲郡駅の構内(ナビテラス前の付近)

(※駅長様のご厚意でJR駅構内にて開催することができました。

ありがとうございました。)



事業開催に向けて

事業概要

・投票の内容について

①Kくん	②Aくん	③Hさん	④Yさん	⑤Mさん	⑥Nさん
ごみ箱	休憩スペース	キッチンカー	案内板	(なんでも自販機) がまごオリジナル自販機	足湯
					

- ・6人の考えた公約(蒲郡駅にほしいもの)を紹介

- ・1人を選んで投票していただく
(本物の選挙用投票箱に投票)

- ・毎日結果を集計

- ・投票後に選挙済証をプレゼント
(※2025参院選のもの)(後半の
1)

事業開催に向けて

事業概要

・開催の狙い

①日常の同線(今回は駅利用者)で投票開催
→ 投票に行く → 日常になることを体験

② 身近な内容の「蒲郡駅にほしいもの選挙」に
→ 若年層に関心を持ってもらう

③投票の開催を複数日で行う（日別で集計）
→ 投票数の推移で分析を行う



事業開催の風景

投票（初週の写真）



↑本物の選挙用投票箱を使用して投票を行いました。

帰宅中の高校生が友人同士で立ち寄りみんなで投票してくれました。↓



事業開催の風景

投票（2週目の写真）

2週目から、気軽に立ち寄ってもらえる
ようゆるキャラを呼びました。↓



↑開催の回数を重ねていくと認知度も
上がり、ゆるキャラの効果も併せて、
投票数は徐々に増加しました。

事業開催の風景

投票（最終週の写真）



↑最後の週、最初と比較して投票所へ気軽に立ち寄ってくれるようになり、日別の投票数も上昇しました。

投票最終日。
小学生も毎日立ち寄ってくれるようになりました。↓

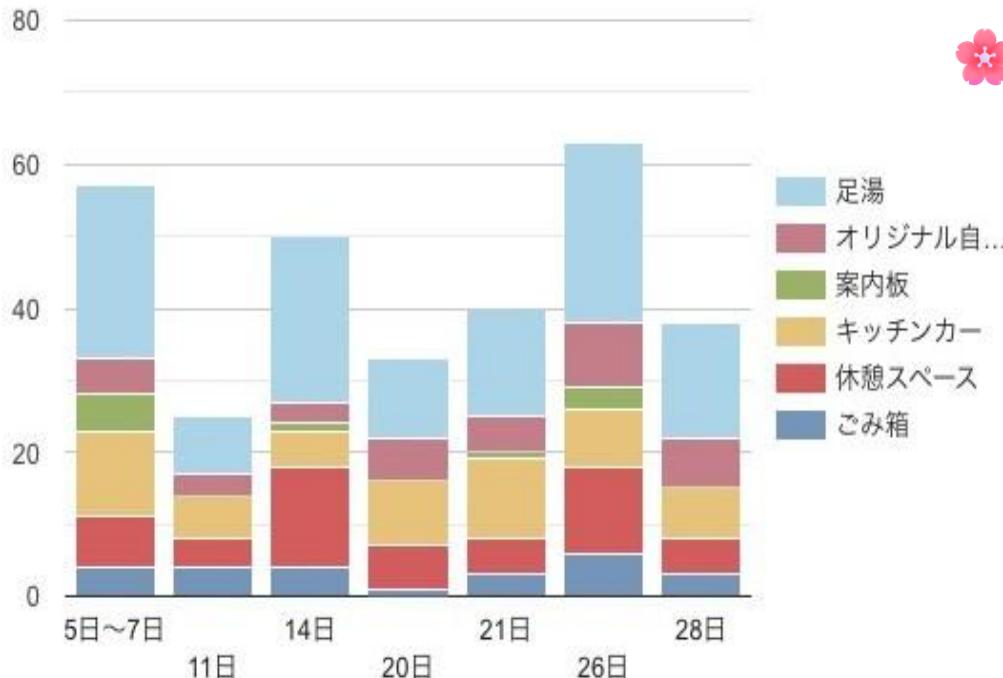


事業開催の結果

投票の結果・分析

「蒲郡駅にほしいものの選挙」
総投票数 **327票** でした！

模擬投票第1弾 蒲郡駅に設置して欲しいもの



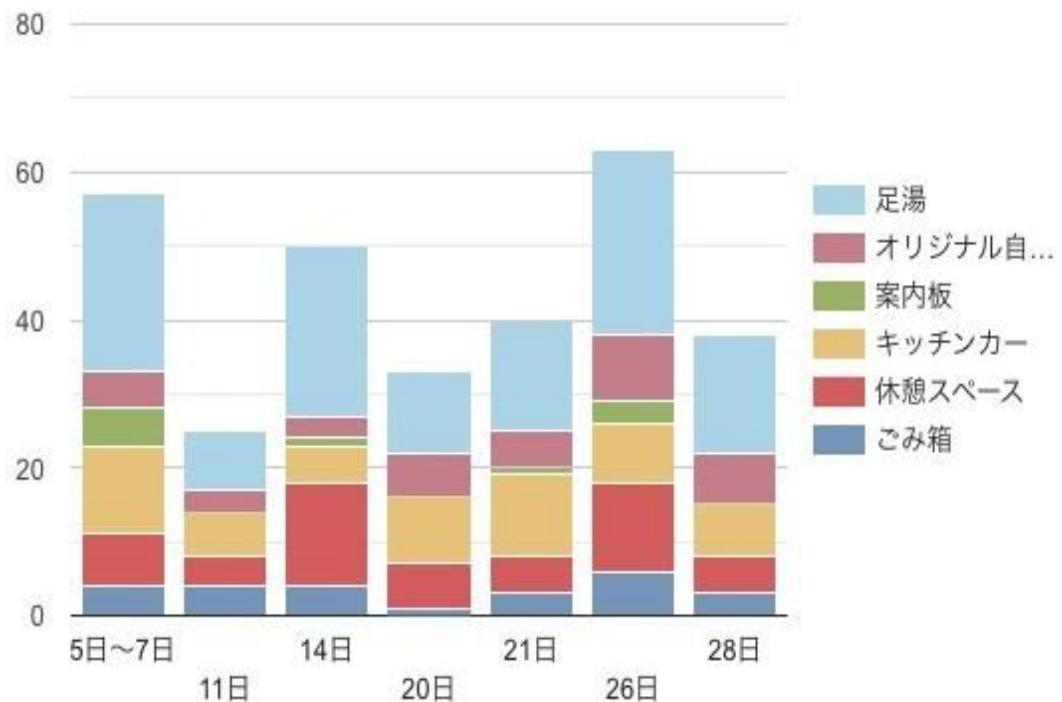
✿ Nさん 足湯	122票
Hさん キッチンカー	58票
Aくん 休憩スペース	53票
Mくん オリジナル自販機	38票
Kくん ごみ箱	25票
Yさん 案内板	10票
その他 (サイゼリヤ6票・アニメイト2票 ほか13票)	21票

事業開催の結果

投票の結果・分析

「蒲郡駅にほしいもの選挙」 投票の結果と分析

模擬投票第1弾 蒲郡駅に設置して欲しいもの



①初日は素通りした人も、2日目、3日目になると立ち寄って投票してくれた

投票に関して心理的ハードルが下がり「ついでに投票」が増えた

→投票の習慣化

事業開催の結果

投票の結果・分析

「蒲郡駅にほしいものの選挙」 投票の結果と分析



②ゆるキャラを呼んで開催したことで投票数が増加した

公共性のあるゆるキャラの登場で、
安心感から立ち寄ってくれる人が
増えた

→行政・地域の信頼

事業開催の結果

投票の結果・分析

「蒲郡駅にほしいものの選挙」 投票の結果と分析



③友人同士などで立ち寄ってくれるひとはみんなで投票してくれた

同調行動 + 所用時間が短いため、一緒に体験できることで投票数が増加した

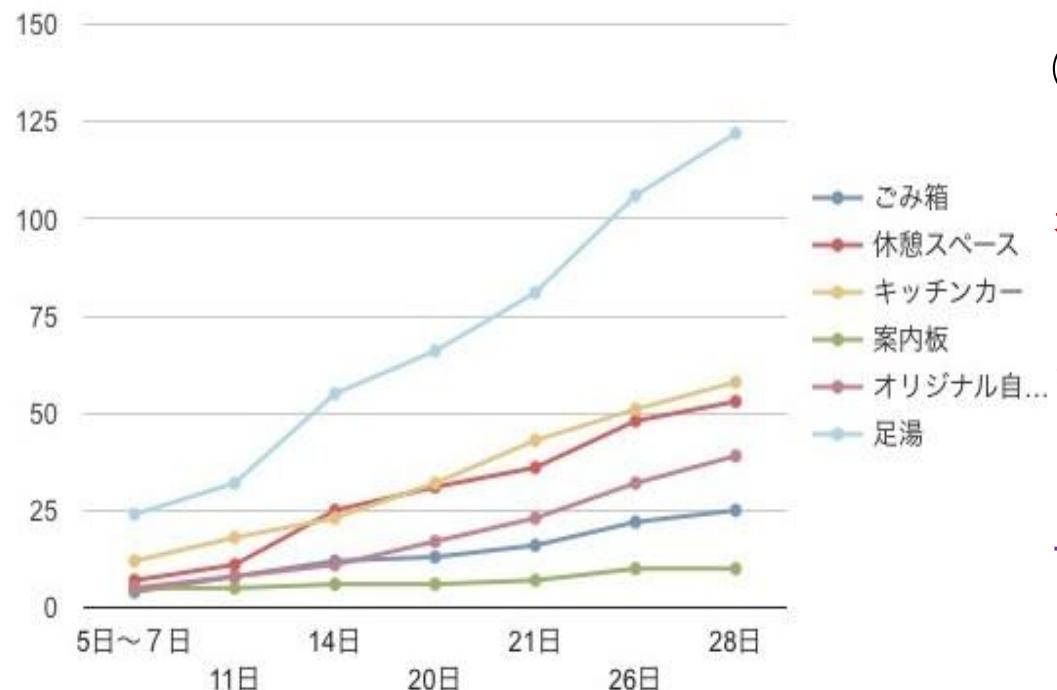
→参加の連鎖

事業開催の結果

投票の結果・分析

「蒲郡駅にほしいもの選挙」 投票の結果と分析

模擬投票第1弾 蒲郡駅に欲しいもの投票



④結果の個別集計について

参加者が何を求めているかデータとして活用可、未来の本物の政策づくりにも参考になる

→参加者のニーズ見える化

事業開催の結果

投票の結果・分析

「蒲郡駅にほしいもの選挙」 投票の結果と分析



⑤インスタグラムに投稿した翌日
の投票数が増加した
**拡散力の高いSNS投稿をきっかけ
に、開催の情報が短時間で多くの
人の目に触れた**

→認知度が一気に広まる

事業開催の結果

投票の結果・分析

「蒲郡駅にほしいものの選挙」 投票の結果と分析 その他感じたこと

- 投票するひとの広がり
- 投票済証の効果
- 足湯が1位になった理由
- 投票所へ来たひとの声



事業開催を終えて

理想の未来像につなげる

①投票で

→ 若者は「参加できる環境」があれば投票する

②投票を通して

→ 「自分の意見が反映される感覚」が生まれる

③それが積み重なると

→ 主権者意識が育つ

④その教育を

→ 一時的なイベントではなく

→ 都市そのもので毎日実践できる場所



…それが

事業開催を終えて

理想の未来像につなげる

⑤それが

→ 海上都市(主権者教育のモデル都市)につながる

 若者は選挙に無関心ではなく、「参加するきっかけ」と「参加しやすい環境」が不足しているだけ

 駅など日常動線での開催や、友人同士での参加によって投票数が増加したことは、**主権者意識が環境によって育つ**ということ

事業開催を終えて

理想の未来像につなげる

⑤それが

→ 海上都市(主権者教育のモデル都市)につながる

 主権者意識は教室内の学習にとどまらず、**日常の中で継続的に実践される必要がある**

 “都市そのものを学びの場とする「海上都市」”は、**今回の成果を社会全体へ発展させる具体的な形である**

理想の未来像

「投票に行きやすく・わかりやすく・やってみやすく」
がまごおり”港のプラットフォーム”



ご清聴ありがとうございました